

第61回
東海地区国立高等専門学校体育大会
プログラム

柔道競技

期日 令和5年7月1日(土)
審判・監督会議 12:30
開会式 13:00
令和5年7月2日(日)
競技開始 計量確認後

会場 豊田市武道館(スカイホール豊田)

主管校 沼津工業高等専門学校

担当校 豊田工業高等専門学校

会 長 挨拶



第 61 回東海地区国立高等専門学校体育大会

会 長 岡 田 哲 男
(沼津工業高等専門学校長)

第 61 回東海地区国立高等専門学校体育大会の主管校を務めるにあたり、ご挨拶申し上げます。

昭和 38 年に豊田高専を会場に第 1 回大会が開催されて以来活発な活動を続けてきた本体育大会は、本年で 61 回目を迎え、歴史の重みを強く感じているところです。

本大会もこれまでと同様、競技は岐阜、鈴鹿、鳥羽、豊田の各高等専門学校のご協力のもとに運営されます。6 月 17 日(土)の硬式野球競技を皮切りに、11 月 12 日(日)のラグビーフットボール競技まで、16 種目が 5 地区の競技場において繰り広げられます。各高等専門学校のチームが、スポーツパーソンシップに則り、正々堂々と競い合い、日頃の練習の成果を披露していただきたいと思えます。これに加えて、大会をきっかけに交流を深め、友情を育むことで、人生の糧とすることを願います。

国立高等専門学校のミッションは、時代や社会が求める実践的技術者を養成することです。社会からの期待に応えるためには、健全な身体と精神を養うことが必要です。スポーツがこの目的に有効であることは、疑いの余地がありません。また、社会で活躍するためには高いコミュニケーション力やマネジメント能力が必要です。高等専門学校卒業生に求められるこれらの能力が、自主的な課外活動の運営や練習、さらには高等専門学校体育大会などのイベント運営に積極的に関わることを通じて涵養されるはずで、この大会は多くの側面から学生の皆さんにとって貴重な成長の機会となるはずで、

最後になりましたが、本地区大会を開催するに当たり、事前の準備、会場設営、大会運営等に多大なご尽力を賜りました関係各協会、諸団体ならびに関係者各位に心より感謝申し上げます。

皆で大いに盛り上げ、大会を楽しみましょう。

目 次

1. 大会役員	1
2. 式次第	2
3. 柔道競技要項	3
4. 競技役員・選手名	5
5. 競技組合せ	7
6. 大会運営上の注意・諸連絡	10
7. 会場配置図	11
8. 会場アクセス	12
9. 駐車場案内	13
10. 周辺の医療機関	14
11. 個人情報及び肖像権に関する取扱いについて	15

大会役員

会長	沼津工業高等専門学校長	岡田 哲男
副会長	鈴鹿工業高等専門学校校長	竹茂 求
	岐阜工業高等専門学校校長	伊津野 真一
	鳥羽商船高等専門学校校長	和泉 充
	豊田工業高等専門学校校長	山田 陽滋
	沼津工業高等専門学校学生主事	佐藤 誠
	沼津工業高等専門学校教務主事	芹澤 弘秀
委員	鈴鹿工業高等専門学校学生主事	仲本 朝基
	鈴鹿工業高等専門学校体育主任	宝来 毅
	鈴鹿工業高等専門学校事務部長	坂井 崇
	岐阜工業高等専門学校学生主事	角野 晴彦
	岐阜工業高等専門学校体育主任	麻草 淳
	岐阜工業高等専門学校事務部長	羽室 秀樹
	鳥羽商船高等専門学校学生主事	坂牧 孝規
	鳥羽商船高等専門学校体育主任	山田 英生
	鳥羽商船高等専門学校事務部長	喜井 健二
	豊田工業高等専門学校学生主事・体育主任	高津 浩彰
	豊田工業高等専門学校事務部長	浅見 宏信
	沼津工業高等専門学校体育主任	渡邊 志保美
	沼津工業高等専門学校事務部長	前田 輝伸
	沼津工業高等専門学校学生課長	福井 郁夫
沼津工業高等専門学校総務課長	長谷川 武史	
参与	鈴鹿工業高等専門学校教務主事	田添 丈博
	岐阜工業高等専門学校教務主事	北川 秀夫
	鳥羽商船高等専門学校教務主事	江崎 修央
	豊田工業高等専門学校教務主事	川西 直樹

第61回東海地区国立高等専門学校体育大会

柔道競技

開会式次第(7月1日(土) 13時00分)

(案内放送)選手団・役員整列

1. 開式のことば
 1. 優勝杯返還
 1. 開催校挨拶
 1. 選手宣誓
 1. 競技場の注意
 1. 閉式のことば
- (閉式後)諸連絡

閉会式次第(7月2日(日) 競技終了後)

(案内放送)選手団・役員整列

1. 開式のことば
 1. 成績発表・表彰
 1. 審判長講評
 1. 開催校挨拶
 1. 閉式のことば
- (閉式後)諸連絡

柔道競技要項

期 日	令和5年7月1日(土)・2日(日)
会 場	豊田市武道館 住所:〒471-0861 愛知県豊田市八幡町1-20 電話:0565-31-0451
審判・監督会議	12時30分
開会式	13時00分
競技開始	開会式終了後
閉会式	競技終了後

A. 競技規定

- (1) 試合は「国際柔道連盟試合審判規定」による。
- (2) 試合時間は、全国大会団体予選・男女個人戦とも4分とし、勝抜戦は3分とする。
- (3) 「優勢勝ち」の判定基準について
 - ① 団体試合は、「技有」又は「僅差」以上とする。なお、「僅差」は、指導差2とする。
 - ② 団体戦の代表戦(任意選出)及び個人試合は、「技有」以上とする。ただし勝敗が決しない場合は、延長戦を(ゴールデンスコア)時間無制限で行う。両試合者が「同時反則負け」「同時一本」の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)で勝敗を決する。代表選以外の「同時一本」の場合は「引分」とし、「同時反則負け」の場合は両者負けとする。
 - ③ 個人試合の判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。なお、「僅差」は指導差2とする。
 - ④ 技による評価が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。延長戦による判定基準は「技有」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。個人戦または団体戦の代表戦において、「同時一本」もしくは累積による「両者反則負け」の場合は、スコアをリセットし、延長戦(ゴールデンスコア)において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により「両者反則負け」となった場合には、スコアをリセットし、再度延長戦(ゴールデンスコア)を行い必ず勝敗を決する。
- (4) 関節技においては、その効果があると認めるとき、審判員の見込みによって「一本」の判断を下すことができる。但し、絞技においては、見込みによる判定を行わない。
- (5) 選手は、全日本柔道連盟規格の柔道衣を着用し、規定のゼッケンを付けること。また、試合中柔道衣の破損などにより、試合に支障をきたす場合には、同チームの別の柔道衣(規定に合ったもの)の着用を認める。(旧規格でもよい)
- (6) 試合中審判に対して意見(抗議)を言う監督については、三人の審判員で合議し、その監督に言動を慎むように注意をすることができる。なお続くようであれば、その監督を退場させることができる。(全柔連通達事項を重視する)
- (7) 出場選手は、全日本柔道連盟に登録している者とし、申し込みにあたっては、全日本柔道連盟登録IDナンバーを記入すること。
- (8) 出場選手の変更については、正当な理由がある場合、所定の用紙に手続きした上で、顧問会議によって可否を決定する。
- (9)
 - ① 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - エ 当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
 - ② 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。脳震盪対応については、全柔連通達事項を厳守する事。

B. 競技方法

- (1) 全国高専大会団体予選
 - ① 試合は、5高専によるリーグ戦で行う。
 - ② 各試合は、5名の選手による点取り試合方式で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
 - ③ チーム人員は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、計10名以内とする。
 - ④ リーグ戦内のチーム対チームの勝敗は、勝数の多いチームを勝とする。勝数が同数の場合は、勝内容(一本勝数・技有勝数)の多い順で決定する。勝内容も同じ場合は、引き分けとする。ただし、一本勝ちと反則勝ちとは同等とする。
 - ⑤ リーグ戦の順位決定は、チーム戦勝数の多いチームを上位とする。勝数が同数の場合は、負数の少ないチームを上位とする。勝負同数の場合は、総得点の多いチームを上位とする。それでも勝負が決定しない場合は、代表戦によって決定する。
 - ⑥ 団体試合の勝内容は、一本勝ち(不戦・棄権・反則)10点、技有勝7点、僅差勝3点、引き分け・負け0点とする。
 - ⑦ オーダー用紙の提出は、試合開始10分前までに行う。試合が連続してある場合は、前の試合終了後速やかにオーダー用紙の提出を行うこと。(当該試合場の試合係は、両チームのオーダー用紙を確認してから掲示すること。)
 - ⑧ 表彰は、1位に優勝杯、1位、2位、3位に賞状を授与する。
 - ⑨ 優勝校は、第58回全国高等専門学校体育大会(団体の部)への出場権を得る。
- (2) 男子個人の部
 - ① 出場人員は、監督1名、マネージャー1名、選手は66kg級・73kg級・81kg級・無差別級の4階級に14名以内の出場とする。
 - ② 試合は、体重別によるトーナメント戦とする。(トーナメント戦の組合せについては、出場人数の関係上試合数に不平等性がある場合、顧問会議で確認し再抽選を行うことができる。)
 - ③ 3位決定戦は行わない。
 - ④ 計量に合格しない者は、出場できない。計量は、マネージャー立会いのもと行い、所定の時間内であれば何度でも行うことができる。ただし選手の計量は1日で行うものとする。(大会初日の試合終了後の所定時間内か、個人試合当日の所定時間内のどちらかを、選手が選択できる。)
 - ⑤ 前年度3位以内に入賞した選手を、シード選手とする。
 - ⑥ 表彰は各階級1位、2位、3位に賞状を授与する。
 - ⑦ 各階級の優勝者は、第58回全国高等専門学校体育大会(男子個人の部)への出場権を得る。
- (3) 女子個人の部
 - ① 階級は、52kg級・57kg級・63kg級・無差別級とする。
 - ② 試合組み合わせは、顧問会議にて出場者数を確認し、リーグ戦・トーナメント戦の試合方式を決定し、抽選を行う。
 - ③ 計量は、顧問会議の時間に、マネージャー立会いのもと行い階級を確認する。
 - ④ 表彰は各階級1位、2位、3位に賞状を授与する。
 - ⑤ 各階級の入賞者は、北陸地区の同階級入賞者との間で、東海地区・北陸地区の代表顧問間により全国大会出場の決定を行い、東海北陸地区代表として各階級3名が、第58回全国高等専門学校体育大会(女子個人の部)への出場権を得る。(前年度全国大会上位入賞者等、過去の実績を重視する。)
- (4) 勝抜団体試合
 - ① 出場人員は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手10名以内、計13名以内とし、全国大会「団体の部」予選に出場しない選手とする。
 - ② 試合はリーグ戦とし、7名による勝抜戦で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
 - ③ 順位決定は、勝数の多いチームを勝とする。同勝数の場合は、負数の少ないチームを上位とする。勝数・負数が同じ場合は、残者数の多いチームを上位とする。それでも順位が決定しない場合は、代表戦を行う。
 - ④ オーダー用紙の提出は、試合開始10分前までに行う。試合が連続してある場合は、前の試合終了後速やかにオーダー用紙の提出を行うこと。(当該試合場の試合係は、両チームのオーダー用紙を確認してから掲示すること。)
 - ⑤ 表彰は1位、2位に賞状を授与する。

競 技 役 員

競技委員長 豊田工業高等専門学校 副校長 高津 浩彰
 会場責任者 熊谷 勇喜
 会場副責任者 今 徳義 八十島 亘宏
 審判長 山本 和俊
 審判員 伊藤 篤俊 梅田 篤 加藤 恵美子 加藤 幸生 加藤 準二
 後藤 隆志 中川 孝幸 西川 裕祐 深津 良正 (敬称略、順不同)
 競技補助員 豊田工業高等専門学校柔道部員

選 手 名

男子団体の部(全国大会予選)

岐阜工業高等専門学校

監 督	山本 浩貴
コ ー チ	松井 優空
マネージャー	湯朝 登羽

番号	主将	氏 名	段位	学年
1	○	日比野 将大	参	5
2		伴 音示朗	参	5
3		牟田 彩人	参	5
4		清水 陽生	参	5
5		永縄 洸聖	弐	4
6		島田 康生	初	2
7		田中 慎之佑	初	1

豊田工業高等専門学校

監 督	今 徳義
コ ー チ	森 真一郎
マネージャー	笥 優祐

番号	主将	氏 名	段位	学年
1	○	工藤 大翔	無	2
2		ガナ	無	5
3		小池 啓太	初	2

鈴鹿工業高等専門学校

監 督	高倉 克人
コ ー チ	仲本 朝基
マネージャー	

番号	主将	氏 名	段位	学年
1	○	倉田 悠祐	初	4
2		佐藤 章太郎	無	3
3		大森 悠誠	初	2

男子団体の部(勝抜団体試合)

岐阜工業高等専門学校

監 督	栗山 嘉文
コ ー チ	永縄 洸聖
マネージャー	雑賀 日翠

番号	主将	氏 名	段位	学年
1	○	袴田 裕基	弐	3
2		玉木 智晴	初	3
3		水野 堯一	初	2
4		松井 優空	初	2

豊田工業高等専門学校

監 督	
コ ー チ	
マネージャー	

番号	主将	氏 名	段位	学年

鈴鹿工業高等専門学校

監 督	
コ ー チ	
マネージャー	

番号	主将	氏 名	段位	学年

男子個人の部(全国大会予選)

岐阜工業高等専門学校

監督	山本 浩貴
マネージャー	雑賀 天寧

(66kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	清水 陽生	参	5
2	水野 堯一	初	2

(73kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	牟田 彩人	参	5
2	袴田 裕基	弐	3
3	松井 優空	初	2
4	島田 康生	初	2

(81kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	日比野 将大	参	5
2	玉木 智晴	初	3

(無差別級)

番号	氏名	段位	学年
1	伴 音示朗	参	5
2	永縄 洸聖	弐	4
3	田中 慎之佑	初	1

豊田工業高等専門学校

監督	今 徳義
マネージャー	筧 優祐

(66kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	工藤 大翔	無	2

(73kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	ガナ	無	5

(81kg級)

番号	氏名	段位	学年
1			

(無差別級)

番号	氏名	段位	学年
1			

鈴鹿工業高等専門学校

監督	高倉 克人
マネージャー	

(66kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	佐藤 章太郎	無	3

(73kg級)

番号	氏名	段位	学年
1			

(81kg級)

番号	氏名	段位	学年
1			

(無差別級)

番号	氏名	段位	学年
1	倉田 悠祐	初	4
2	大森 悠誠	初	2

女子個人の部

岐阜工業高等専門学校

監督	山本 浩貴
マネージャー	水野 堯一

(52kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	雑賀 日翠	初	1

(57kg級)

番号	氏名	段位	学年
1			

(63kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	雑賀 天寧	弐	4

(無差別級)

番号	氏名	段位	学年
1			

豊田工業高等専門学校

監督	今 徳義
マネージャー	松本 伶生

(52kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	松浦 千莉	無	2

(57kg級)

番号	氏名	段位	学年
1	阿部 泉穂	無	3
2	神谷 真帆	無	3

(63kg級)

番号	氏名	段位	学年
1			

(無差別級)

番号	氏名	段位	学年
1			

鈴鹿工業高等専門学校

監督	
マネージャー	

(52kg級)

番号	氏名	段位	学年
1			

(57kg級)

番号	氏名	段位	学年
1			

(63kg級)

番号	氏名	段位	学年
1			

(無差別級)

番号	氏名	段位	学年
1			

柔道組合せ

競技開始時刻 7月1日 開会式終了後
7月2日 計量確認終了後

団体の部 (全国高専大会団体予選)

第1試合場 第1試合 第2試合 第3試合
岐阜 - 豊田 岐阜 - 鈴鹿 豊田 - 鈴鹿

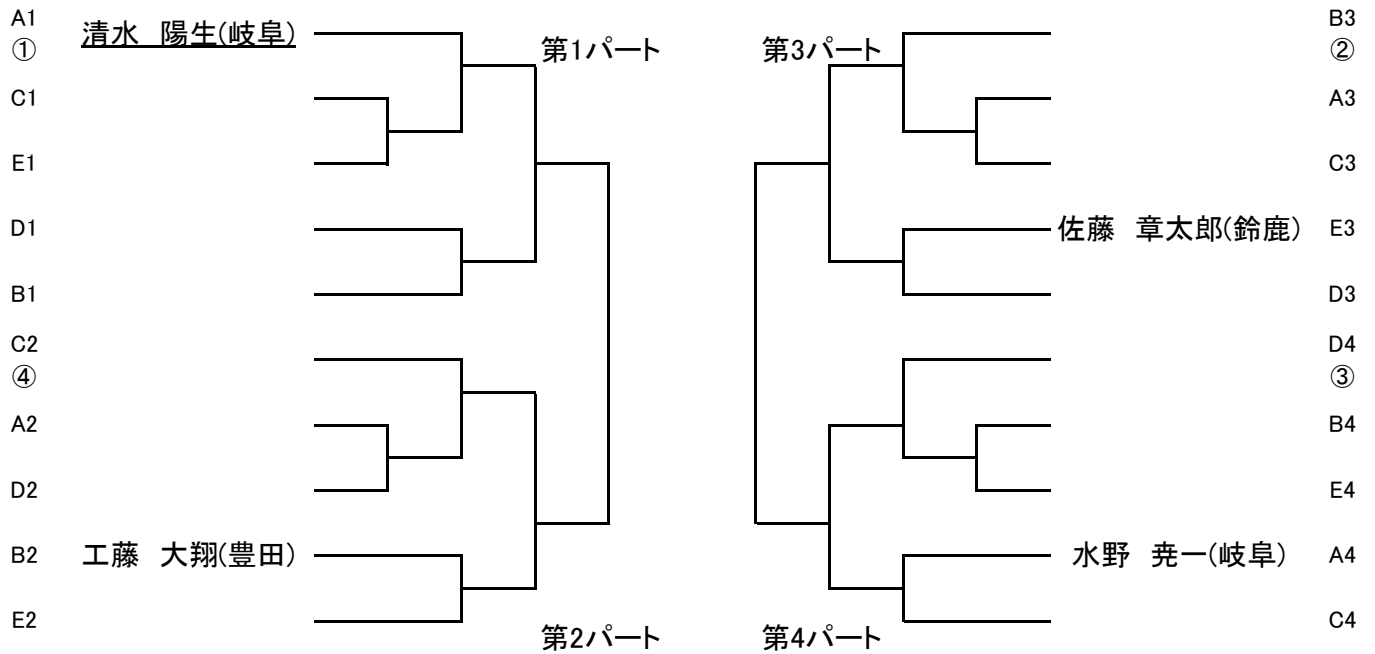
学校名	岐阜	豊田	鈴鹿	勝数	負数	総得点	順位
岐阜							
豊田							
鈴鹿							

団体の部 (勝ち抜き試合)

第1試合場 第1試合 第2試合 第3試合
岐阜 - 豊田 岐阜 - 鈴鹿 豊田 - 鈴鹿

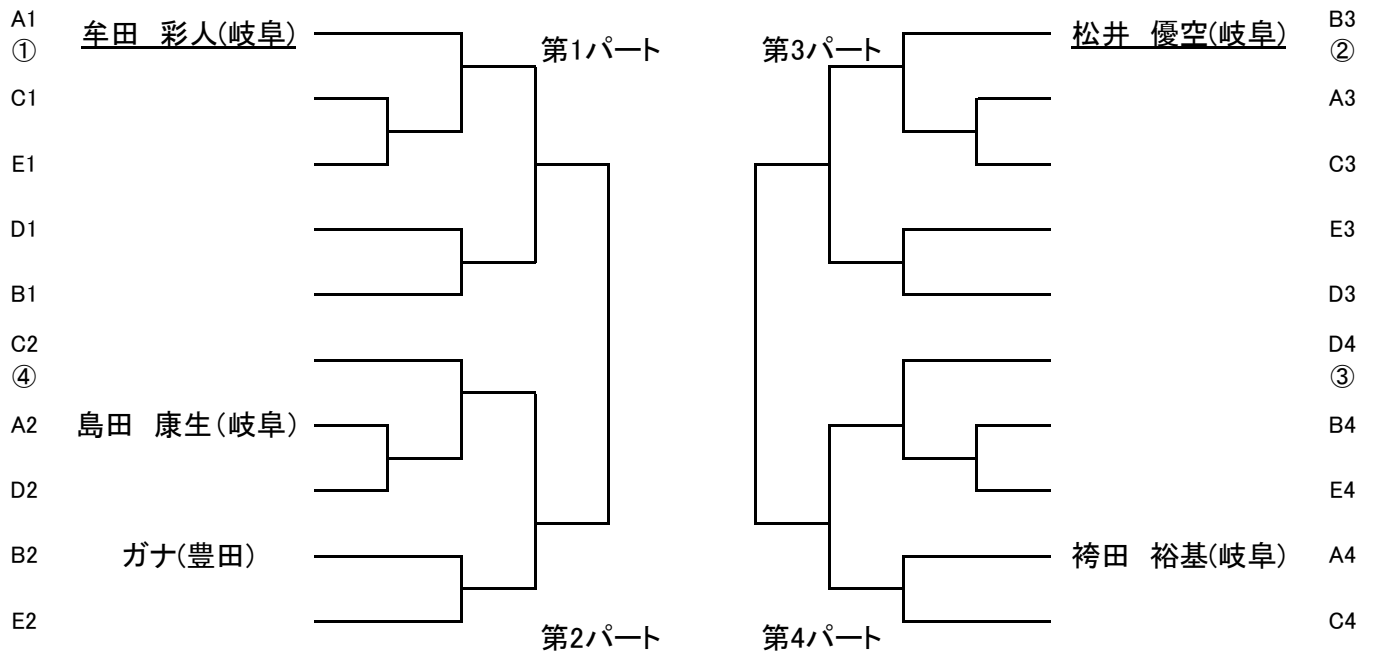
学校名	岐阜	豊田	鈴鹿	勝数	負数	残者数	順位
岐阜							
豊田							
鈴鹿							

男子個人の部(66kg級)



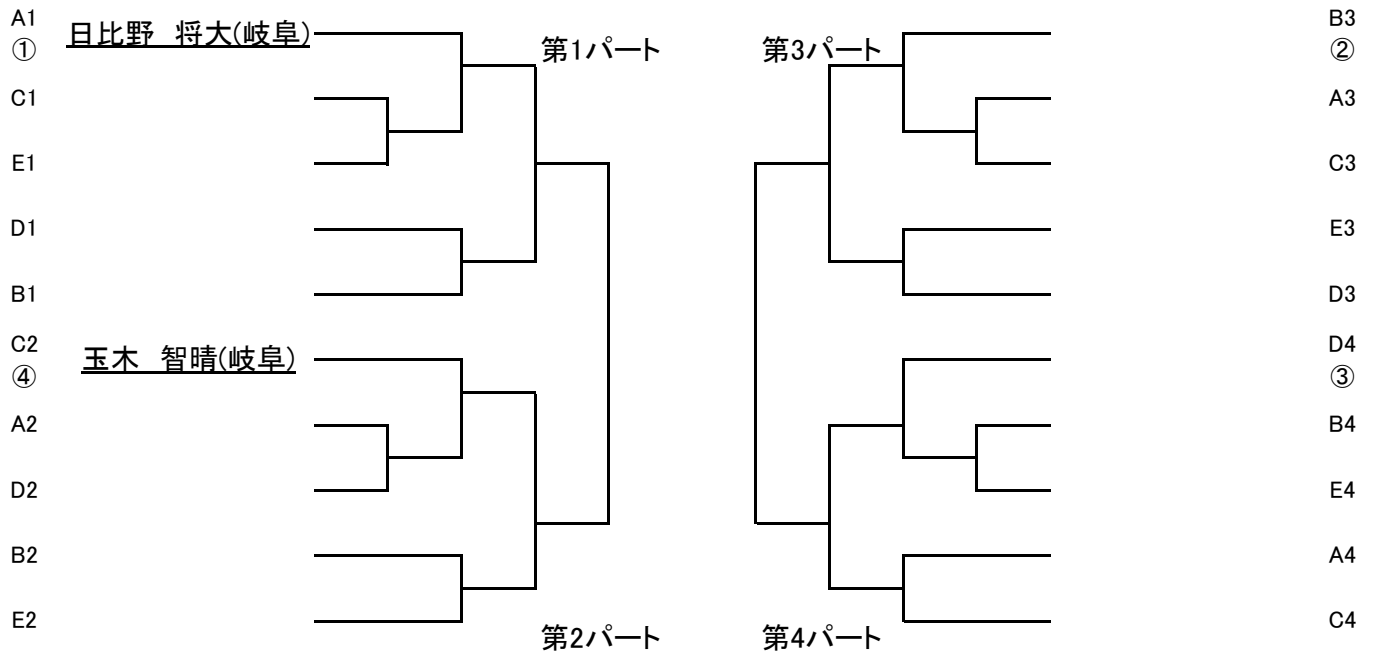
下線はシード選手 丸数字はシード順

男子個人の部(73kg級)

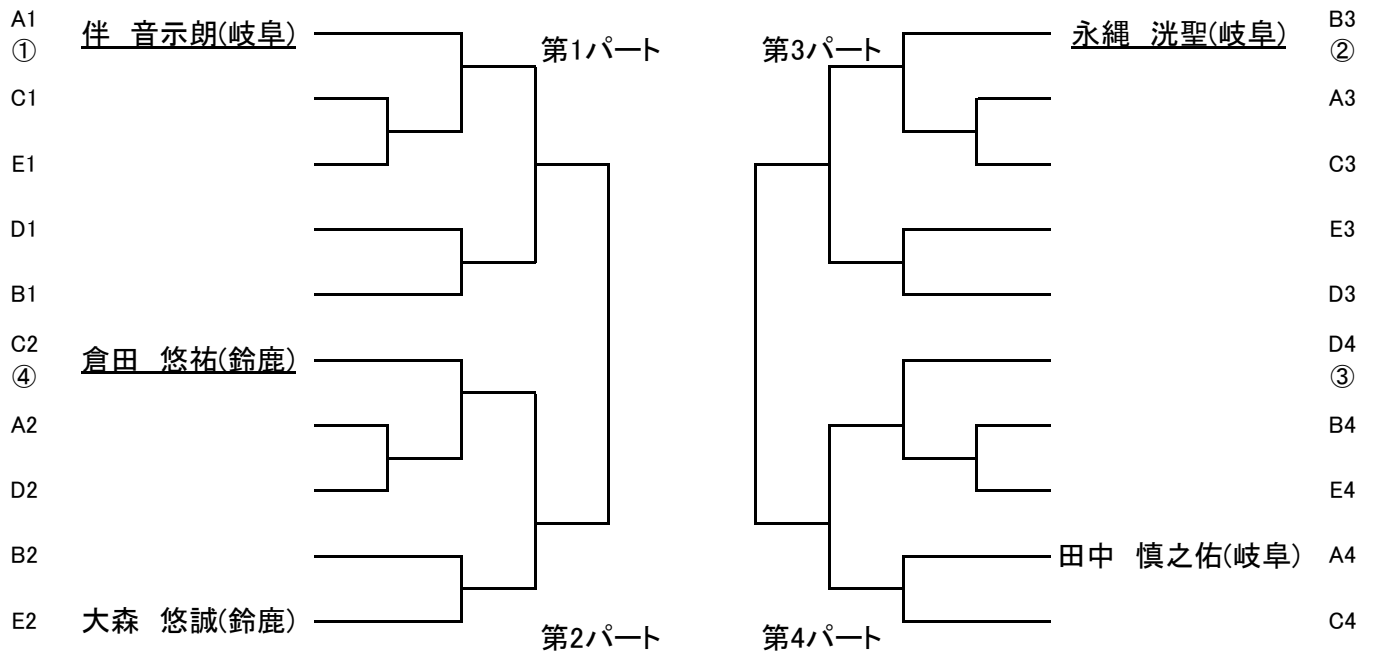


下線はシード選手 丸数字はシード順

男子個人の部(81kg級)



男子個人の部(無差別級)



大会運営上の注意・諸連絡

1. 会場について

- ・本大会では柔道場・多目的道場のみを借用しています。他の施設の利用はご遠慮願います。
- ・武道館内は飲食厳禁です。昼食等の飲食は、スカイホールのエントランス等でお取り下さい。なお、選手の水分補給の飲み物については、武道館外の通路でお取り下さい。その際は、床を汚さないよう十分ご配慮願います。またゴミは各人・各校でお持ち帰り下さい。
- ・下駄箱は他の大会で使用する場合もあり、数に限りがありますので、各人・各校の自己管理でご使用下さい。
- ・土足の場所を裸足のまま歩かないようにして下さい。
- ・更衣室はロッカーの台数が限られていますので、各校譲り合ってご使用下さい。なお、ロッカーの使用には1回20円かかります。
- ・後片付け等を行い、マナー良くご使用下さい。
- ・別紙「豊田市武道館配置図」をご確認下さい。試合運営のため、出入り口、応援席等を決めています。
- ・会場正面向かって左側の観覧席は譲り合って（占有することなく）自由にご使用下さい。
- ・多目的道場にある畳の収納場所には登壇しないで下さい。
- ・駐車場は、大型車（バス）以外は、適宜空いている場所に駐車下さい。駐車場でのトラブルについては、開催校ならびに会場は責任を負いません。また、バスについては、別紙「駐車場案内図」をご覧ください、指定の駐車場へ駐車して下さい。

2. 大会日程・諸注意について

- ・会場は8時30分開場です。それまでは入館できません。退館は17時とします。大会1日目（1日）は、12時30分から審判監督会議を行います。13時00分開会式、開会式後に競技開始となります。
- ・大会2日目（2日）は、開場8時30分、審判監督会議を9時30分、競技開始を計量確認後に行います。
- ・高等専門学校の学生として相応しい態度・服装で大会に参加して下さい。

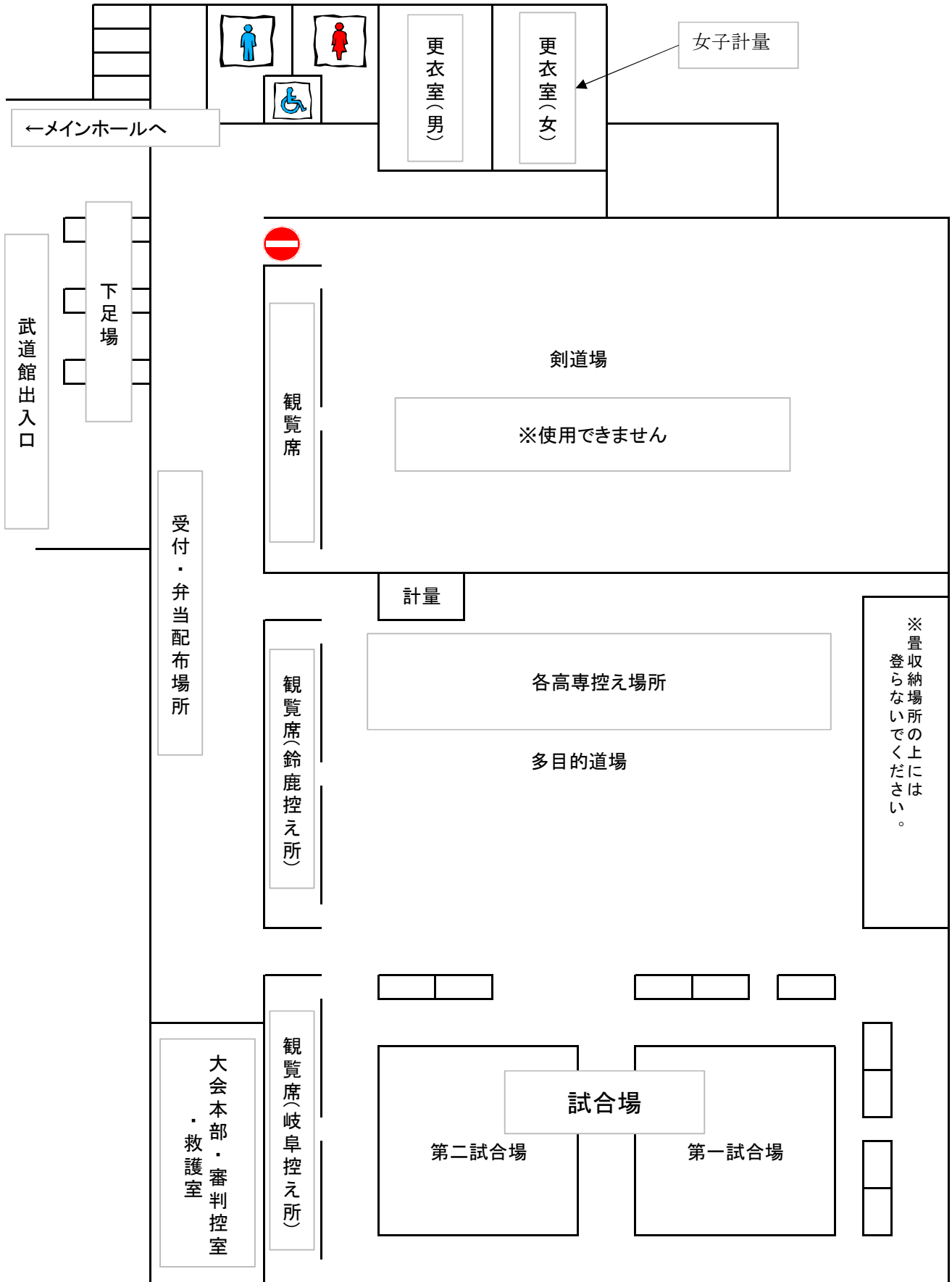
3. 弁当配布について

- ・1日、2日両日とも、11時00分頃から配布できます。弁当殻の回収は14時までとします。とくに案内をしませんので、弁当を申し込まれた学校は、学校単位で廊下受付へお越し下さい。なお、回収時間は厳守下さい。また、時節柄弁当は早めに食べて下さい。

4. 注意事項

- ・貴重品や物品の管理は、各校で責任をもって行って下さい。開催校および会場では責任を負いません。
- ・ケガ等が発生した場合は、看護師が待機しています。その後の処置については、各校でご対応をお願いいたします。

豊田市武道館配置図



スカイホール豊田(豊田市武道館)へのアクセス方法

お車をご利用の方

■豊田東I. C. から

料金所を下りた後、1つめの信号を右折。
国道248号線を豊田中心市街地方面へ北進。
十塚町4の信号を右折し、300m直進。

電車をご利用の方

■名古屋方面から

名鉄豊田線「豊田市」駅下車。
徒歩15分。
または豊田市駅東口から名鉄バスを利用、
「豊田本町」で下車し、徒歩5分。

■知立方面から

名鉄三河線「豊田市」駅下車。
徒歩15分。
または豊田市駅東口から名鉄バスを利用、
「豊田本町」で下車し、徒歩5分。

※豊田本町を経由する主なバス

- ・古瀬間町行き
- ・五ヶ丘ニュータウン行き
- ・中垣内行き



最終完成形
(P2植栽変更案)

スカイホール豊田(豊田市武道館) 駐車場案内図

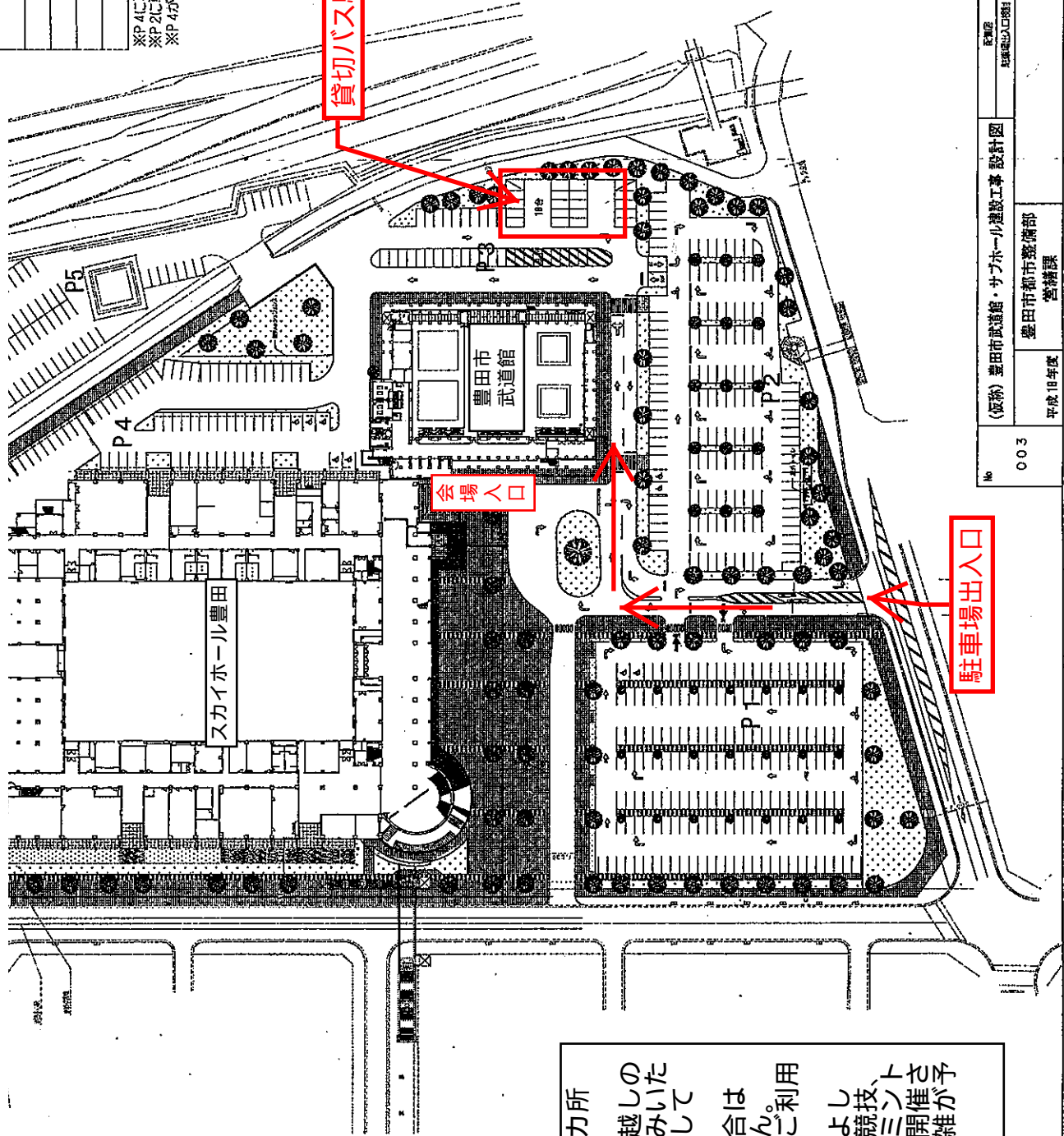
駐車場名称	駐車台数
P1	179
P2	137
P3	62
P4	98
P5	101
合計	577

※P1に車椅子利用専用5台を含む
 ※P2に車椅子利用専用2台を含む
 ※P4がバリアフリー形(10台)の場合-16台

凡例

- 1. 舗装区画
- 2. 緑地
- 3. 芝生
- 4. ツル巻線(木柵工事)
- 5. フォトアツキ
- 6. 歩道用アスファルト舗装
- 7. 車道用アスファルト舗装
- 8. 砂利
- 9. 植栽
- 10. 排水溝
- 11. 柱脚

スケール: 1:1,000
 縮尺: 1:1,000
 設計: 株式会社田中建設
 監理: 株式会社田中建設



会場駐車場の出入口は一方所のみです。等の大型車でお越しの貸切バス等は、矢印方向にお進みいただき、所定の場所へ駐車していただきます。

一般乗用車でお越しの場合は、駐車場の指定はありません。適宜空いている駐車場をご利用ください。

7月1日(土)は豊田・みよし地区中学校総体卓球競技、7月2日(日)は市民バドミントン大会がメインホールで開催されますので、駐車場の混雑が予想されます。

No. 003	003	003
平成18年度	豊田市都市整備部 営繕課	豊田市武道館・サブホール建設工事設計図
豊田市	豊田市	豊田市
平成19年1月	1:600	縮尺
豊田	豊田	豊田

周辺の医療機関

○豊田市○

豊田市では休日や夜間等に病気やケガをした場合、まず自家用車・タクシーなどで1次救急の医療機関へ来院して、投薬・注射といった処置や応急手当を受けます。そこで、症状が重いと診断された場合、2次救急の病院を紹介、または救急車で搬送されます。

1次救急

平日

内科系 外科系	午後7時～翌朝午前9時 (受付は終了30分前まで)	豊田市地域医療センター 所在地:豊田市西山町3-30-1 電話番号:0565-34-3000
------------	------------------------------	--

土曜日

内科系	午後2時～翌朝午前9時 (受付は終了30分前まで)	豊田市地域医療センター 所在地:豊田市西山町3-30-1 電話番号:0565-34-3000
外科系	午後7時～翌朝午前9時 (受付は終了30分前まで)	豊田市地域医療センター 所在地:豊田市西山町3-30-1 電話番号:0565-34-3000

日曜日・祝日

内科系・小児科	午前9時～午後5時 (受付は午前9時～11時30分、 午後1時～4時30分)	豊田加茂医師会立休日救急内科診療所 所在地:豊田市西山町3-30-1 電話番号:0565-32-7150
内科系・外科系	午後5時～翌朝午前9時 (受付は終了30分前まで)	豊田市地域医療センター 所在地:豊田市西山町3-30-1 電話番号:0565-34-3000
外科系	7月2日(日) 午前9時～午後5時 (受付は終了30分前まで)	さいとう整形外科クリニック 所在地:豊田市明和町2-58-3 電話番号:0565-29-3110
歯科系	午前10時～午後3時 (受付は終了30分前まで)	豊田市地域医療センター 所在地:豊田市西山町3-30-1 電話番号:0565-34-3000

名鉄タクシー 0565-32-1541

コロモタクシー 0565-32-1246

個人情報及び肖像権に関する取り扱いについて

第61回東海地区国立高等専門学校体育大会

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して大会事務局に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。

